

『秋の夜長のコンサート in 奥浦』

11月10日（金）、奥浦小学校体育館で『秋の夜長のコンサート in 奥浦』が行われました。まず最初に、奥浦小学校の児童による合奏と合唱曲で幕を開けました。子どもたちの、力強い合奏、心躍る歌声に会場の雰囲気も和ませてもらいました。次は奥浦混声合唱団による、「地球の詩」と「ふるさと」でしたが、子どもたちの歌声とはまた違った気格ある歌声に、思わずうなっていました。最後は、日高剛先生（ホルン）と佐々木優依さん（ピアノ）による演奏で、ホルンとピアノの二重奏も、それぞれのソロも、音圧に幅があり、とても心地よい音色や、迫力ある生演奏に聴き入っていました。途中、ホルンの説明もしていただき、普段あまり触れることが出来ない楽器を少し身近に感じることができたように思います。



お知らせ

奥浦混声合唱団 第26回定期演奏会

クリスマスコンサート

場所: 浦頭教会
 日にち: 12月9日(土曜)
 会場: 16時
 開演: 16時30分

【協賛出演】
 平和のばら保育園
 奥浦小学校
 奥浦慈恵院
 福江少年少女合唱団



浦頭教会・堂崎教会 クリスマスイルミネーション

期間
 平成29年 11月26日～
 平成30年 1月初旬

～奥浦だより～

よかところ！おくら

12月号

～もくじ～

- おくらの魚図鑑 クロ
- 史跡・名所を巡る「奥浦さるく」～観音平・半泊～
- 民泊体験 北海道当別高等学校 大阪府市立高等学校 大阪府立箕面東高等学校
- 『おくら夢のフラワーロード』植樹祭・除幕式
- 地域振興部会 大豆
- 『秋の夜長のコンサート in 奥浦』
- お知らせ

奥浦混声合唱団 第26回定期演奏会 **クリスマスコンサート**
 浦頭教会・堂崎教会 **クリスマスイルミネーション**

おくらの魚図鑑

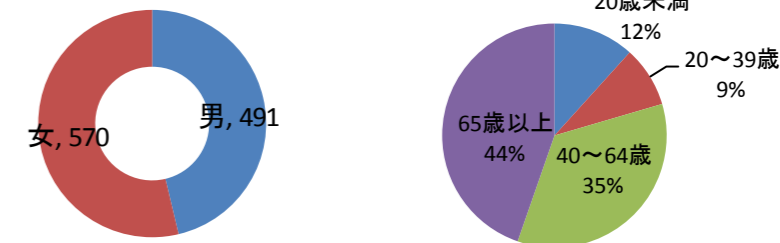
ク ロ

クロは、メジナ・グレ・クロイオとそれぞれの地域で呼び方が違います。奥浦沖は潮通しがいいので、釣りのポイントとしても最高ですが、12月に入るとさらに、型の大きいものが釣れだし、冬場の寒風にもめげず磯釣りに励みたくってきますね。寒い時期の『クロ』は、脂が乗っているので、刺身の皮焼きや霜降りもとても美味しいですが、塩焼き・煮付け・味噌汁など、少し味の濃い料理にしてもおいしいです。他の魚同様に、コラーゲンやビタミンA、B1、そしてDHA・EPAも多く含まれていますが、『クロ』の黒い皮には、ビタミンB2、カルシウムやビタミンD（カルシウムの吸収促進）が豊富に含まれているので、骨を強化してくれます。

奥浦地区の人口(H29. 11. 1現在)
 総数 / 1,061人 (-4)
 前年10月末: 1,086人
 世帯数: 602世帯 (-3)
 ※ () は前月比

男: 491人 女: 570人
 ●20歳未満: 124人 (-3) ●20～39歳: 93人 (±0)
 ●40～64歳: 370人 (-1) ●65歳以上: 474人 (±0)
 平均年齢: 57.6歳 高齢化率: 44.67% (-0.16)

奥浦地区の人口
 1,061人
 (H29. 11. 1現在)の割合



史跡・名所を巡る
『奥浦さるく』
 ～ 観音平・半泊～

11月3日(金・祝)に奥浦さるくが行われました。
 今回は、観音平採石場跡前広場を出発して、岩屋観音様や半泊教会を巡る、往復6.2kmのコースです。

お天気にも恵まれ、約110名の参加者の足取りも軽く「さるく」ことができました。

スタートすぐの岩屋観音様では、ガイドの木口栄氏より、岩屋観音様とカクレキリシタンについての説明があり、洞窟の奥深い場所に祀られている観音様を通して、歴史の深さも学びました。

半泊教会では、木口重憲氏のガイドで、教会の成り立ちや、半泊海岸の石を集め、きれいに積み上げられた石垣について学びました。信者のひたむきな献身さを感じる内容でした。

参加者のみなさんも、ガイドの説明を静かに聞き、周りを見回しては、タイムスリップしたかのように、過去と現在を照らし合わせているようでした。

「さるく」の道中は、めったに訪れることがない、観音平や半泊の大自然に、子どもたちは喜び、水けりをしたり、玉石を集めたりしていました。

大人たちも久しぶりの風景を前に、自然と昔話が弾み、懐かしんでいる方もいらっしゃいました。

地元奥浦を、再発見するよい機会となったようです。



民泊体験

北海道当別高等学校
 大阪府市立高等学校
 大阪府立箕面東高等学校



11月も10月に引き続き、たくさんの生徒さんが民泊体験で奥浦を訪れました。
 今回は北海道からも修学旅行生が訪れ、互いの地域における様々な違いに、驚いたり、感動したりと縦長の日本列島に感慨深いものがありました。

その中でも、水温の違いは子供達にとって刺激的だったのか、「北海道と比べて冷たくない」と言うが早いか、11月の海で楽しげに泳いでいました。

まだ、寒さを感じるほどではありませんでしたが、近くで作業をされていた漁師の方々もびっくり顔でした。大阪からの修学旅行生も奥浦を満喫して、海の透明度だけでなく、満ち引き、私たちが普段何気なく通り過ぎている日常に大変感動してくれました。

11月も中旬になると冬らしくなり、野外体験は大変そうでしたが、それでも生徒たちは楽しんでいました。最後の離村式は、奥浦での思い出が頭に浮かび、寂しさで胸を詰ませたのか、女子生徒だけでなく、男子生徒まで涙する挨拶となり、心優しく、感受性豊かな生徒たちの一面を知ることができました。

おくら夢のフラワーロード



11月3日(金・祝)慈恵院跡地下の道路余地で、『おくら夢のフラワーロード』植樹式及び除幕式が行われました。

式典には、谷川弥一衆院議員を初め野口市長らも参加され、盛大な植樹祭となりました。

皆様より、「過疎化が進むこの五島市において、休耕地の活用方法は大きな課題である、そこで『おくら夢のフラワーロード』が新たな広告塔となり、島内だけではなく島外にも奥浦や五島市の素晴らしさを発信、PRして頂きたい」と、思いが詰まった御祝辞を頂きました。

植樹式や除幕式では、奥浦小学校の児童や奥浦中学校の生徒にもお手伝いをしてもらい、無事、桜の植樹や除幕を執り行うことができました。

最後は石碑をバックに、これから咲き誇る、花に負けにくいぐらいの笑顔で記念撮影を行いました。



地域振興部会 大豆

11月6日(月)、地域振興部のみなさんと、大豆の収穫を行いました。

通常、収穫時期は、茎葉が黄変、サヤが褐色し振るとカラカラ音がする頃で、10月下旬～11月上旬を収穫の目安に行います。

その後、天日干しなどで予備乾燥を行いますが、この時、降雨に遭うと紫斑粒、カビ粒の発生など品質低下となるので、とても気を使います。

そこで今年は、収穫時期を、少し遅めに設定し、畑である程度乾燥させての収穫を試みてみました。

しかし、畑で乾燥し過ぎると、鞘から弾け出してしまうので、慎重に敵期を見極めて収穫を行いました。

作付け面積も、昨年より1.5倍広くはありましたが、収穫量は、昨年を上回る2倍あまりの収穫を得ることができました。

大豆は、豆腐、味噌、醤油、納豆、きな粉と、様々な利用方法があるので、今後この大豆を使って、『どのようにしたら奥浦らしさがアピールできるか』と大豆の活用法に夢膨らませているところです。

